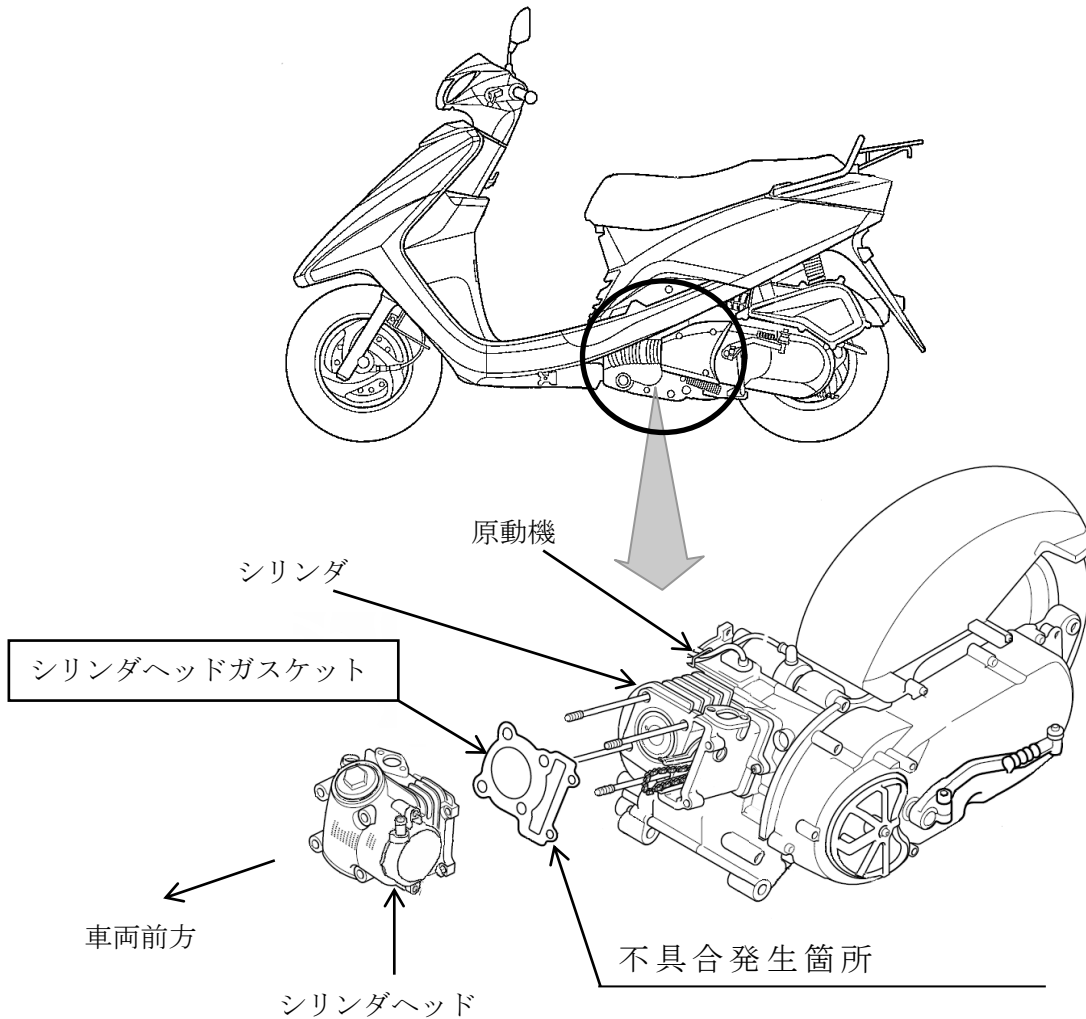
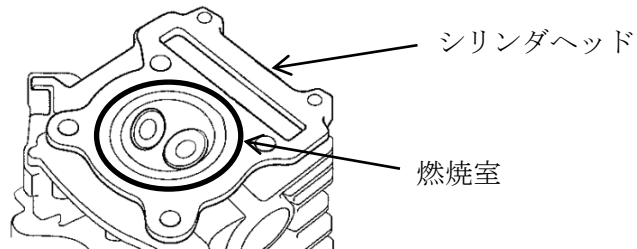


改善箇所説明図②



原動機において、シリンダヘッドガスケットの製造が不適切なため、シリンダとシリンダヘッドとの合面のシール面圧が不足しているものがある。そのため、シリンダとシリンダヘッドの隙間から燃焼室内にエンジンオイルが流入し、流入したオイルより生成されたカーボンが堆積され、堆積したカーボンが吸気・排気バルブのシール面に噛み込んで燃焼室内の気密性が損なわれ、最悪の場合、始動不良やエンストに至るおそれがある。

(シリンダ合面側)



改善の内容：全車両、シリンダヘッドガスケットを良品と交換するとともに、シリンダヘッドの燃焼室のカーボンを除去する。

識別：エンジンプラケット左側に白ペイントを塗布する。

注： は交換部品を示す。